

様式第4号（第13条関係）



埼玉県エコアップ認証事業所取組実施状況報告書

令和元年 7 月 26 日

(あて先)  
埼玉県知事

報告者 名称 株式会社 島村工業  
住所 埼玉県比企郡川島町大字牛ヶ谷戸  
代表者 代表取締役 島村 健  
電話番号 048-775-1111



埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第13条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 事業活動の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃ しまむらこうぎょう			
事業所の名称	株式会社 島村工業(川島本店、上尾支店、東松山営業所)			
事業所の所在地	〒350-0127 埼玉県比企郡川島町大字牛ヶ谷戸 489(川島本店) 〒362-0015 埼玉県上尾市緑丘 3-4-25(上尾支店) 〒355-0022 埼玉県東松山市御茶山町 10-3(東松山営業所)			
事業の内容	土木、建築、リネユール事業の設計及び施工			
事業の規模	資本金 (万円)	46,800 (万円)	主要製品	各種建設物
	従業員 人数(人)	251 (人)	事業所の 敷地面積(m <sup>2</sup> )	8,606 m <sup>2</sup>
	( )		事業所の 延床面積(m <sup>2</sup> )	3,757 m <sup>2</sup>
地球温暖化対策 計画の提出状況	提出日：令和元年 6月15日			
地球温暖化対策 推進者名	役職 安全品質環境部長	氏名 加藤 宏司		
担当者	所属 総管理部	氏名 野口 雅史		
連絡先	電話 048-775-1111	FAX 048-771-5662 電子メール masashi.noguchi@shimamura-k.co.jp		

2 環境方針 ※（見直しを行った場合、記載すること）

（改正日：平成 年 月 日）

3 環境負荷の現状

（1）環境保全の取組のチェック結果

項目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
達成率（%）	80%	100%	83%	60%	71%
前回認証時達成率（%）	80%	100%	100%	60%	71%
項目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
達成率（%）	71%	64%	71%	56%	
前回認証時達成率（%）	71%	64%	71%	56%	

（取組に関する情報・説明）

〈廃棄物の排出抑制・リサイクル〉

- ・コピー紙削減の取組みとして、各部使用機器ごとに毎月カウンター数を社内ネットに掲示し、5部門が各部の使用数に対し四半期ごとの取組みを実施中。
- ・業務用シュレッダーを上尾支店各階に導入し処理した紙を再資源化。カタログ等の書籍も徹底した分別により再資源化を図り、廃棄物の量を削減する。

〈大気汚染・CO<sub>2</sub>〉

- ・地球温暖化対策計画に伴い平成31年1月に全社員教育を実施、エネルギー使用の現状削減目標、取組み及び自動車CO<sub>2</sub>の削減について周知を行った。
- ・古い年式の社有車の入替により燃費の向上を図る。
- ・業務用空調機の年4回の自主点検、法定点検該当機については3年に1回の法定点検を行い、機器の保全を行う。

〈節水・水〉

- ・水栓機器の点検、使用量の確認により漏水を防ぐ。

〈その他・社会貢献〉

- ・ペットキャップ運動実施中、キャップのNPO団体への提供を継続。
- ・彩の国ロードサポートは活動継続中。

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア) 建物系 CO<sub>2</sub>排出量 (「算定報告様式 (建物系)」より転記)

項 目		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
CO <sub>2</sub> 排出量	上尾支店	126.2	126.7	135.8	133.0
	川島本店	10.4	10.7	12.1	11.0
	東松山営業所	12.4	13.6	14.1	13.0
	t-CO <sub>2</sub> /年	149.0	151.0	162.0	157.0
原単位 (床面積当たり)	t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	0.0397	0.0402	0.0431	0.0418
原単位の指標数	(床面積)	3,757	3,757	3,757	3,757

イ) 工場・現場系 CO<sub>2</sub>排出量 (「算定報告様式 (工場・現場)」より転記)

項 目		年度	年度	年度	年度
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年				
原単位 ( ) 当たり)	t-CO <sub>2</sub> /				
原単位の指標数	( )				

ウ) 自動車燃料 CO<sub>2</sub>排出量 (「自動車燃料チェックシート」より転記)

項 目		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	102.5	100.5	104.3	108.7
原単位 (走行距離当たり)	t-CO <sub>2</sub> /千 Km	0.2003	0.1945	0.1776	0.1711
原単位の指標数	(走行距離千 Km)	511.617	516.715	587.279	635.402

エ) 合 計 (ア+イ+ウ)

項 目		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	251.5	251.5	266.3	265.7
原単位 (従業員数当たり)	t-CO <sub>2</sub> /人	1.9960	1.9803	2.1304	2.0921
原単位の指標数	(従業員数)	126	127	125	127

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の実績

(基準値：平成27年度～平成29年度の3か年平均)

年度	CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	基準値比 増減量 (t-CO <sub>2</sub> )	基準値比 増減率 (%)	CO <sub>2</sub> 原単位 (従業員数当たり) (t-CO <sub>2</sub> /人)	基準値比 増減量 (従業員数当たり) (t-CO <sub>2</sub> /人)	基準値比 増減率 (%)
基準値	256.4			2.0356		
30年度	265.7	9.3	3.6	2.0921	0.0565	2.8
31年度						
32年度						
平均 増減率			3.6			2.8

(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物系 CO<sub>2</sub> に関しては暖冬の為、冬期の電気使用量が削減され前年比 2.8%減となり目標を達成できた。</li> <li>・自動車燃料系 CO<sub>2</sub> は年間での走行距離が 48,123km ふえたことにより前年比 4.2%増となり、目標は達成できなかった。走行距離は前年比 8.2%増であったので燃費の向上は図れている。要因としては、燃費の良い車両の比率が増えたこと、高速道路の使用等が考えられる。</li> </ul>
---

(5) その他環境に重大な影響を与える項目の実績及びその情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

・廃棄物排出量の推移				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
廃棄物処分量(t)	2.92	3.07	3.77	1.59
原単位〈従業員当り〉	0.0232t/人	0.0242 t/人	0.0302 t/人	0.0125t/人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度上尾支店の改装工事に伴う廃棄物排出が無くなり大幅に削減されたのに加え、上尾支店のコンテナ排出のタイミングのずれにより数値に大きな変動が出ている。平準化のために回収月を固定するか検討する。</li> </ul>				
・水道使用量の推移				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
水道使用量 (m <sup>3</sup> )	1,462	1,325	1,405	1,371
原単位〈従業員当り〉	11.6031 m <sup>3</sup> /人	10.4331 m <sup>3</sup> /人	11.2400 m <sup>3</sup> /人	10.7953 m <sup>3</sup> /人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上尾支店ではミスト実演を井水に変更し、水道使用量を削減した。</li> <li>・彩の国ロードサポートを継続中。(平成30年度清掃ボランティア10回実施)</li> </ul>				

(6) 二酸化炭素削減対策等の取組状況

別添「二酸化炭素削減対策等チェックシート」のとおり (追加対策に関するコメント)

--

4 環境への負荷低減の目標 ※ (見直しを行った場合、記載すること)

(1) 二酸化炭素の削減目標

年度	目標 排出量 (t-CO2)	基準値 (t-CO2)	増減量 (t-CO2)	増減 率 (%)	目標 原単位 ( 当たり) (t-CO2/ )	基準値 ( 当たり) (t-CO2/ )	増減量 ( 当たり) (t-CO2/ )	増減 率 (%)
年度								
年度								
年度								
平均 増減率								

(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の目標を継続する。</li> </ul>
---

(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及び情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の目標を継続する。</li> </ul>
---

5 環境負荷低減に向けた具体的な取組結果

(1) 二酸化炭素削減の取組結果

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

<p>1) 電気使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①空調温度室温設定 (冷房 28℃、暖房 20℃) を遵守、扇風機使用による空調の効率化を実施。</li> <li>②社内への入館時間を制限し、空調使用時間を少なくする。(継続) 平成 27 年 4 月より「土曜日ノ一残業デー」として社員に周知し電気使用量を抑制。</li> <li>③外気、昼光を利用し電力削減に努める。昼休み時の照明消灯の徹底。</li> <li>④照明器具の交換 (LED 等の省電力器具への交換) の提案</li> <li>⑤エレベーターは引き続き乗り捨て方式を維持。</li> </ul>
--

⑥空調機のフィルター清掃を年2回実施。空調機の3か月に1回の自主点検を継続。

2) 自動車燃料削減

①社有車の削減

〈低年式車の入替：平成30年度：平成25年式2台を平成30年式2台に入替。

平成31年度 廃車8台（H9式1台、H14式1台、H15式4台、H16式2台）、新車購入3台 令和元年7月現在〉

\*社有車数 推移

平成28年3月末	平成29年3月末	平成30年3月末	平成31年3月末
46台	47台	52台	52台

②エコドライブ教育の実施

社有車運行日誌にはエコドライブ実施についてのチェック欄を設け、エコドライブの啓発を行っている。今後、社有車へドライブレコーダーを装着し、エコドライブへの意識付けを行う。

③社有車の新規購入の際、共用車にはETC、ナビを、それ以外にはETCを標準装備

④出向者用のレンタカーに関してもETC、ナビ、ドライブレコーダー装着車とする。

(2) その他環境に重大な影響を与える項目の取組結果

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

- ・焼却処分としていた書類をシュレッダー処理により紙資源としてリサイクル、排出量の削減を図る。
- ・製品サンプルのついたカタログ等そのままではリサイクルできない書籍の分別を徹底し、紙類はリサイクル処理とする。
- ・水道使用量については、水栓器具等の経年劣化による故障に注意し無駄な排出を防ぐ。

6 取組の実施体制

(1) 各取組の分担や責任者の配置状況 ※（見直しを行った場合、記載すること）

(※組織図を添付)

(2) 取組の従業員への周知状況

31年1月に「統合マネジメントシステム、地球温暖化対策計画研修会」を実施した。

## 7 取組の運用状況

### (1) 目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

(直近の内部環境監査日：平成31年3月27日)

30年度環境低減取組実施進捗表を記入し、廃棄物、電力量、自動車CO<sub>2</sub>の3項目で実施。対目標で廃棄物 -2.14t 235% 電力量 -2,673kwh 101%、自動車CO<sub>2</sub> +6.5t-CO<sub>2</sub> 94%

### (1) 確認・点検結果に基づく対応概況

5(1) 二酸化炭素削減の取組結果、5(2) その他環境に重大な影響を与える項目の取組み結果に準じる。

## 8 評価・見直し

### (1) 代表者等による全体の取組の評価・見直し概況

(直近の代表者による評価・見直し日：平成31年4月18日)

「環境低減取組実施進捗表」により代表者の評価を行い、平成31年度(令和元年度)の目標を設定した。

### (2) 見直し結果の従業員への伝達状況

上記結果を受け、各部門長が部員に周知した。

## 9 公表

### 取組実施状況報告(エコアップ認証)の公表状況

埼玉県エコアップ認証事業所更新認証申請書(H30年)、埼玉県エコアップ認証事業所取組実施状況報告書(H29年度)地球温暖化対策計画作成報告書(H27~H31年度)を自社ホームページ上で公表。

HPアドレス <http://www.shimamura-k.co.jp>